

明治四十三年 紀元二千五百七十年

本紙 一枚金二錢 一箇月金廿五錢
定價 金貳圓 郵稅一ヶ月十三錢

月曜日及大祭日の翌日は休刊(月刊)

廣告 五號活字十七字 行一圓
料金 五十錢 雜報類刊特別廣告五號活字十七字 行七十五錢

發行所 京都新報社

印刷所 京師西小門通(電話六六三)

發行兼編輯人 高木久馬 太田一郎

此
▲平壤通信
▲黃海道の地稅徵收 平壤財務監
管内に於ける毎年度の地稅徵收は
南北兩道は其の年度内の二月及び

方の主人と見ゆる、應てそれく



千五百七十一年
閏六月廿五日
月十三日
時三鐘
は刊行(月刊)
一冊一元金
諸所五號活
版廣告十五
久馬太
神一郎

電話六六三
新報社

外のことでもね
の、三年前から
の出ると云ふ
人を叱咤したり
者が賊に困つた
在だ、留守番を
よには、村方の
十五歳以上の者
に出したが、目出度いことなら我勝に喰べもいたしますが、村方新田の六兵衛と云ふ極權かな人が賊に當つたのでございますから、一同の者は氣の毒に思つて、一人立ち二人立ち、果ては死つて解らずしみました、石屋の太次男も賊組をして、太さうも六兵衛さん、賊に氣の毒なことだが仕方がないさうなことを丈夫にして出掛けました。ハイ有難うござります、私のやうな年寄が行つたつて、何の役に立たねへ、何しろ岩間文は崖淵に人間の間骨があつた何のと聞けば餘まり宜い心持はしたねへ、考へて見ると私も前世の罪がまた滅しないのか、後へ滅るのは婆一人年を老つての子供と云ふもののがねわらへ、賊にそれが心配でござります、ナニそんなことを氣に掛けずとも、娘は庄屋さんが宜いやににするから心配

出て上ます、其切味は如何なる岩鐵と雖も、切れぬものはないと、自分から申すは高慢のやうではござる、夫れを以て其怪物を退治するが宜い、明日と云は今日から私が取掛かる鐵を洗上げやう、之を踏いて六兵衛派を洗つて上、誠に有難いことでございます、前、賊に殺れることも目下念じる。神佛の前様は誠に親切だ、私の方の道具の類を拵へて呉れたので、大抵獲物は分つたが、定めれば前様が打つた物は見事に手に入りますものでない、幸ひは六兵衛衛前に拵らへてやつて呉んさい。

三丁目 大坂野村徳七代



仁由堂
三邑首
廣安堂
廣安堂

廣 告












外の試用は必ず一週間分
 るくんば決して服用せられ
 に確信あればなり
 飲の禮狀を有す（禮狀は累す）
 方
 の外差出申候に付御入用の御
 郵便時候は直に御届可申邊の御
 郵便爲替にて御注文有ば着金次第
 ●壹圓四拾錢・送料四錢●
 ●金貳圓八拾錢・送料六錢●
 岡田順天堂
 六番 特電下谷 千三百八十二番
 岡田順天堂
 神田區福井町中久町
 大木會社
 白崎藥店
 柳馬場市田中庄兵衛
 電話九三二番
 發電器（タ）

世の中に子無きを啣つて病や消渴を治療せざるに世の中に子宮病に悩むもの多くは淋病消渴を患ふ淋病消渴の害毒如此豈輕忽に而して此恐るべき淋病消渴を病原菌を殺滅し炎症を消散せらざるべからず

意外は此理想藥劑を完備す

●最完全せる癩病沙

意外は諸種の藥劑中稀に見新藥を主藥とし加ふるに配なり

意外を服用すれば癩病の急性慢性を問はず其微菌を忽ち殺滅す

意外は尿利を良くし疼痛や膿汁を忽ちに消失せしむ

意外は胃腸腎臟等を害する副作用なし

意外は癩病消渴に發する種々の危險症を未發に防ぐ大効あり

如此にして意外は癩病消渴の急性慢性を問はず忽ちにして根治せしむ

淋病消渴患者は速かに試み

他藥を試みて更に快癒せざ

可く獨守の効ありて速かに

IGAI

外

膏



世の中に子無きを啣つ多くの原因はりん
病や消渴を治療せざるにあり
世の中に子宮病に悩み膀胱加答兒に苦しむ多くは淋病消渴を治療せざる結果なり
淋病消渴の害毒如此豈輕忽に付すべけんや
而して此恐るべき淋病消渴を治療するには淋病消渴の病原を殺滅し炎症を消散せしむる所謂理想的藥劑ならざるべからず
意外は此理想的藥劑を完備す
●最完全せる淋病消渴専門藥
意外は諸種の藥劑中稀に見る著大の確効を奏する最新藥を主藥とし加ふるに配合極めて妙を得たる藥劑なり
一意外を服用すれば
淋病の急性慢性を

